

平成 20 年 6 月 12 日

各 位

神奈川県横須賀市小川町 14 番地 1
株式会社ネットワークバリューコンポネンツ
代表取締役 渡部 進
(コード番号: 3394 東証マザーズ)
問合わせ先 取締役アドミニストレーション部
マネージャー 寺田 賢太郎
TEL 046 -828 -1804

米 Xsigo Systems 社製品販売開始のお知らせ

当社は添付の資料のとおり、I/O 仮想化コントローラソリューションベンダの Xsigo Systems 社と販売代理店契約を締結し、国内販売を開始いたします。

なお、本件による業績への影響は軽微であると見ております。

以 上

平成 20 年 6 月 12 日

報道関係者各位

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ

NVC、米 Xsigo Systems 社製品の販売を開始
～ データセンターの統合、仮想化ソリューションを提供～

記

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ(本社:神奈川県横須賀市、代表取締役:渡部 進、以下略称:NVC、東証マザーズ:3394)は Xsigo Systems 社(本社:米国カリフォルニア、CEO:Lloyd Carney、以下 Xsigo 社)と日本における販売代理店契約を締結し、国内販売を開始いたします。

1. 国内代理店締結の背景

近年、仮想化技術^{#1}が進歩した影響により、データセンター等でサーバ・ストレージの仮想化がこれまでにないスピードで進められています。

NVC でもストレージ、ネットワークリソースの仮想化による効率的な活用を通じた機器購入コストおよび管理コストの削減、また、今日、社会的に取り組まなければならないグリーン IT といった環境負荷軽減効果にも積極的に目を向けて提案活動をしております。

当社の製品ラインアップにサーバおよびデータセンターの I/O^{#2}の仮想化を実現する Xsigo 社製品を加えることにより、特定のベンダーにとらわれることなく、サーバ、ストレージ、ネットワークリソースのトータルな仮想化ソリューションの提供が可能となり、NVC が推進する仮想化によるコスト削減とグリーン IT ソリューションの提案の幅がサーバ、I/O、ストレージとデータセンター全体に広がることとなります。

2. 製品概要

仮想化テクノロジーは、ストレージ、サーバ、ネットワークリソースの効率的な活用を促し、その結果、これらのリソースを短時間で効率よくフレキシブルに利用できるようになりました。しかし、このような環境であっても IT 管理者は各デバイスを接続するために入り組んだケーブル、アダプタカード、スイッチ、ルータの設定変更、接続変更のような作業、また、それらに付随する管理者、複雑なユーザへの調整に多大な労力を割いています。このような融通の利かない既存の物理 I/O インフラが管理コストを押し上げ、IT リソースの割当てを遅らせ、その結果、ビジネスの変化にリアルタイムに対応することが難しくなっています。

VP780 による I/O 管理の簡素化

Xsigo I/O 仮想化コントローラ VP780 は『I/O 仮想化』技術の採用により、システム管理の機動性は著しく向上し、その結果、以前なら設定変更や、他の管理者、ユーザへの調整も含め何週

間もかかっていた作業を数分で終わらせることができます。システム内の I/O 接続を統合することで、IT インフラが飛躍的に簡素化します。

VP780 によるサーバ仮想化のボトルネックの解消

I/O 仮想化をサーバ仮想化と組み合わせることで、従来あった問題点を解決することが出来ます。

問題点 1: 複数のアプリケーションで 1 つの I/O ポートを共有する場合、すべてのアプリケーションに対してデータ帯域幅を保証できません。あるアプリケーションでリソースを独占すれば、他のすべてのアプリケーションはリソース不足になります。これはミッションクリティカルなアプリケーションにとって深刻な問題です。

問題点 2: セキュリティの問題もあります。セキュリティと可用性を確保するためには、アプリケーションが相互に通信できない構成をとることが必要です。しかし、複数のアプリケーションで同じ I/O ポートを共有する場合、プライバシーの保証はされません。

VP780 は仮想マシンごとに個別の接続を提供することで、これらの問題を解決します。このアプリケーション別の接続には、以下のような利点があります。

利点 1: 帯域幅の保証：詳細設定が可能な QoS により、各アプリケーションに必要なデータ帯域幅が確保されます。このことにより、ミッションクリティカルなアプリケーションの仮想化が可能になります。また、この帯域制御はサーバのリソースを全く消費しません。

利点 2: セキュリティ：アプリケーションごとの接続には完全な I/O 識別情報が含まれるので、アプリケーションを別の物理デバイスに移行しても、完全なセキュリティが守られます。

3. 発売時期および予定価格

発売時期

2008 年 6 月。初年度の販売額は 1 億円を目標としています。

予定価格

最小構成で、5,864,100 円（税別、初年度サポートライセンス込み）

4. その他

【シーゴシステムズ社について】

シーゴシステムズ社は、「データセンターのリソース利用率を高めることにより、SLA の導入・実現、運用効率の向上を実現させること」を目的に設立されました。シーゴシステムズ社の「I/O 仮想化」ソリューションでは、ハードウェアベースのハイパフォーマンスかつ豊富な「I/O 仮想化」機能をアプライアンスにて提供し、サービス側のニーズに応じて瞬時にデータセンターリソースの割り当てを行うことが可能となります。

【株式会社ネットワークバリューコンポネンツについて】

ネットワークバリューコンポネンツは、ネットワーク草創期から常に最先端製品を開拓してきたネットワークインテグレータです。ネットワーク製品の提供から、開発、コンサルテーション、構築・保守まで、最先端技術と、豊富な知識・ノウハウ、斬新な企画・発想力を駆使して、あらゆるネットワークフェーズをトータルにサポートしています。

本社所在地	神奈川県横須賀市小川町 14 -1
設立	1990 年 4 月
資本金	366,759,550 円
代表者	代表取締役 渡部 進
従業員数	77 名
事業内容	コンピュータネットワーク関連製品の企画、開発、輸入、販売、ネットワークデザイン、構築、コンサルテーション、監視・管理
主要仕入先	Array Networks、Aruba Networks、BroadWeb、Century Systems、Crossbeam Systems、DASAN Networks、Ellacoya Networks、Fortinet、H3C Technologies、Imperva、Isilon Systems、Infoblox、Ironport System、Loglogic、Lucent Technologies、Secure Associates、Strix Systems、Symantec ほか
URL	http://www.nvc.co.jp/

【用語補足】

#1：仮想化技術

PC やサーバ上で複数のオペレーティングシステムを稼働させる技術、または複数のコンピュータを 1 つのハードウェアであるかのように見せる技術。

#2：I/O

input / output の略で、コンピュータの入出力全般をさすもの。LAN や USB、モニタなども I/O とされ、本件の場合、ストレージなどとの入出力をさします。

以 上

本件に関するお問い合わせ先

報道関係者の皆さま

マーケティング担当：佐伯 TEL 03-5783-1500 E-mail press@nvc.co.jp

投資家の皆さま

IR 担当： 寺田 TEL 046-828-1804 E-mail ir@nvc.co.jp